

運動会や入園式などの行事を、子どもの側から見てみると、疑問を感じることも多いので、今月号では行事報告の特集を試みた。いずれも本誌の「私の保育」に執筆された優秀な先生方である。二十人程の方にお願ひしたのであるが、六人の方から報告を頂いたのを掲載した。どの園でも、行事は関係者の間で「綿密に」連絡し合い、準備にも、当日のことにも「気を配って」実施し、皆が気持ちよく過せるように工夫が重ねられていることがよく分る。先生たちがこれだけのエネルギーを使っているから、園による個性があらわれている。報告を寄せて下さった方々には、今後の工夫のための材料を提供して下さったことを感謝したい。

ふだんは子どもと先生との生活であるが、行事になると、親や他のおとなたちも一緒に参加する。そしてそのときには、先生もただのおとなになって交わる。園の側から言えば、それだけ大きなエネルギーを使っているから、子どもにもおとなにも満足のいく行事とすることができるのであろう。幼稚園の生活では、どこまでも子どもの日常の遊びが主である。先生のエネルギーの主たる部分はそこに注がれるのが至当である。行事は、ときに随性に流されがちな日常の反復に張りを与える。お誕生日やクリスマスが子どもに楽しみや希望を与えていることはだれもが身近に見るところである。また保育者は、幼稚園の先生も親も、日ごろ自分を抑えていることが多いから、ときに子どもと一緒にあって愉快になるのは自然なことである。

行事が子どもの悩みの種にならず、楽しみとなるように願っている。(津守)

幼児の教育 第七十九巻 第二号

二月号 ◎ 定価二五〇円

昭和五十五年 一月二十五日 印刷
昭和五十五年 二月 一日 発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行人

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ二二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします